

	道府県の意見	省庁の意見	有識者の意見
消費者庁等	<p><b>徳島県</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>全国屈指のブロードバンド環境を活かした「新しい働き方」、「テレワーク」を提案。</u></li> <li>・消費者庁設置の提案を行うなど消費者行政への提言の実績がある。</li> <li>・四国大学等の消費関係講座に毎年 110 人受講するなど消費問題の人材育成が進んでいる。</li> <li>・受入体制については<u>拳県一致協議会を立ち上げ。県消費者団体も誘致に協力。</u></li> <li>・<u>関西広域連合も含め、広域で人材確保を図る。</u></li> </ul>	<p><b>消費者庁等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>各省と連携し、「舵取り役」としての任務を実施。</u></li> <li>・<u>消費者安全に関する緊急事態への対応が可能か。</u></li> <li>・徳島県は人口当たりの職員・相談員の配置率などは高い一方、資格保有者等の絶対数は多くはない。</li> <li>・<u>移転の課題抽出のための試行（テレビ会議、試行的勤務、商品テスト等）を実施予定。3月に消費者庁長官を派遣。4月以降も試行を予定。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な業務がある中、<u>地域密着の業務もあり、整理が必要。</u></li> <li>・<u>人材確保や地元受入体制が重要。</u>徳島県はそのための<u>関係機関の連携について、具体的な中身の検討が必要。</u></li> </ul>
総務省統計局	<p><b>和歌山県</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティの取組や県独自の先進的防災システムなどの取組を実施。</li> <li>・<u>和歌山大、滋賀大など関西の各大学でデータサイエンティストの養成コースを作る予定。</u></li> <li>・現在はないが、<u>データサイエンス学のネットワークを関西広域連合で組織化して、統計局、統計センターと連携したい。</u></li> </ul>	<p><b>総務省</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統計は正確性、迅速性が重要。</li> <li>・国会、関係省庁との関係、諮問会議からも問われている統計の質の向上にむけての取組、交通アクセスなどを考えると移転のデメリットは大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ICTの旗振りをしている総務省としてテレビ会議などの活用を考えるべき。</u></li> <li>・和歌山県について、<u>現状では人材確保が課題。</u>人材確保や今後の統計行政の強化の見通しが重要。</li> </ul>
文化庁	<p><b>京都府</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>京都には現場力、集客力、文化発信力があり、日本の文化行政の底上げにつながる。</u></li> <li>・<u>地元も応分の負担</u>を考えている。</li> <li>・マスメディアも含めて東京一極集中する中で、文化の多様性が失われている。文化行政だけでも切り離して多様性を確保すべき。</li> </ul>	<p><b>文化庁</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>現時点で移転の可否や問題点について、考え方を示すことはできない。</u></li> <li>・京都の資源を使って、文化行政に活かせる部分があるのであれば、ご協力いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>文科省としても主体的に課題を整理してほしい。</u></li> <li>・<u>京都以外の地方の文化政策がどう向上するか、が重要。</u></li> </ul>

	道府県の意見	省庁の意見	有識者の意見
特許庁	<p><b>大阪府</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの中小企業が存在する大阪に特許庁、(独)工業所有権情報・研修館がより身近になることで、<u>産業創造</u>につながり、一極集中の是正につながる。審査機能の人材のバックアップにもなる。</li> </ul> <p><b>長野県</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大災害に備えた人材のバックアップ体制にもなる。</li> </ul>	<p><b>特許庁</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>限られた人員での審査官同士の緊密な連携</u>、現在活用している民間人材の集積を考えると審査官の分離は非効率。</li> <li>国土の小さな<u>先進国では、基本的に審査は1カ所で対応。</u></li> <li>大災害時に備え、BCPを策定。万が一の場合、特許庁のOBを活用することも有り得る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>審査を行う特許庁の一部が来ても地方創生に貢献しないのではないか</u>（むしろ<u>知財戦略の支援が重要</u>）。</li> </ul>
中小企業庁	<p><b>大阪府</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い企業が集積し、中小企業の課題が端的にみられる大阪が適地。</li> <li>具体的に大阪で政策を立案するメリットや近畿経産局での執行で何が足りないかの説明は難しいが本省機能がほしい。</li> </ul>	<p><b>中小企業庁</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>近畿経産局を通じて、国として行政サービスを大阪府においても実施している。不足している部分があれば充実を図っていく。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪府から見た時、<u>現在の中小企業施策で具体的に何が足りないのか出さないと議論は始まらない。</u></li> </ul>
観光庁	<p><b>北海道</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道の広域DMOづくりを主導するなど、<u>北海道運輸局を強化し、ワンストップの窓口を担っていただきたい。</u></li> </ul> <p><b>兵庫県</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成長力の核である観光庁が関西にあることが重要。兵庫、神戸という歴史ある都市で多様な我が国の魅力を感じながら企画立案できるというメリットがある。</li> </ul>	<p><b>観光庁</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各国でインバウンドを取り合っている中、<u>官邸主導で各省と連日調整。</u></li> <li><u>各都道府県がそれぞれ観光政策に力を入れており、特定のところに肩入れできない。</u></li> <li><u>昨年、地方運輸局に観光部を新設。現場の関係者との連携を強化し始めた。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>新しい政策のタマを作らないといけないところを移すのは厳しい。</u></li> </ul>
気象庁	<p><b>三重県</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県として防災減災対策を進めるなかで気象庁を提案。</li> </ul>	<p><b>気象庁</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>気象庁本庁は<u>危機管理を組織的に関係省庁と連携して実施している。</u></li> <li>各県に地方気象台を設置しており、地方の防災の拠点としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模災害を考えると本庁は無理。切り出しの具体案もないと議論は進まない。</li> </ul>